

検討会（第2回）意見対応表

1.委員指摘とその対応

(1) 第2章 千代田区の川沿いの現状

指摘	対応
<p>○魅力のある景観について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和泉橋の防災船着場も寂しい感じになっていて、もう少し色気が欲しい。歴史的な橋があり、情緒があるものがあるのに対し後世の我々は応答できていない気がする。 	<p>■第2章の現状で、課題として表記していきます。</p>
<p>○川沿いの公共空間の維持・管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川管理は東京都が行い、水面・法面の管理は区が行うという管理が分かれている状態がある。 ・川沿いの公共空間の維持・管理は魅力を発信していく上で重要。 ・官民連携の取組みもガイドラインで示していくことが重要だと考える。 	<p>■第2章の現状分析の中で管理が分かれている課題など明記していきます。</p> <p>■第3章以降で維持管理や官民連携に係わる記載を今後検討していきます。</p>

(2) 第3章 川沿いまちづくり実現のためのビジョン・方針

指摘	対応
<p>○水質の改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本橋川の水質や見た目の改善など改善の余地はあるのではないかと考えた。 	<p>■第2章の共通の課題や第3章の川沿いのまちづくりの方針に水質改善の記載を増やしました。</p>
<p>○護岸沿いの植栽について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央区の方の説明によると護岸沿いの草花の手入れもボランティアの方が協力して行われているとのことだった。神田川・日本橋川についても整備がなされるにつれ、そういった景観になればよいと思った。 	<p>■第3章の川沿いのまちづくりの方針に歩きたくなる川沿いを作るというテーマを掲げており、緑や草花の維持管理についても今後記載を検討していきます。</p>
<p>○防災船着場の開放について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船に初めて乗る人にいつでも陸に上がれるということが伝わるかどうかは大事。防災船着場のカギを開けるといことは難しいことではないことだと思うので、ぜひ検討してほしい。 	<p>■第3章の川沿いのまちづくりの方針で防災船着場の活用についての記載をしました。</p>

<p>○空間の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある程度の空間、幅と延長がある場所があれば人は集まってくるのだなと感じた。 ・その条件がなかなか厳しいところではまち側との出入の空間をつくる、公共用地の敷地だけでは限界があるのでそういった視点が重要だと考える。 	<p>■第3章の川沿いのまちづくりの方針やエリア別方針での記載を今後充実していくとともに、様々な条件による整備イメージ図も今後示していきます。</p>
<p>○開けていない空間について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川沿いに公共施設や道路があるところは開けた空間が作りやすいが、宅地が川に張り付いているところで、大規模開発も難しそうな場所では、川に面した顔づくりを促すアイデアが浮かびづらい。 ・道路や公共施設の後背地に民地があるようなところでは、公共空間の使い方を民地の開発とセットで考えるなどの工夫ができるのではないかな。 	<p>■ご指摘のとおり、敷地条件が厳しいと川に面した顔づくりは難しいが、敷地規模による整備のイメージ図等を示していきます。また、公共空間と民地開発のセットの考え方の記載については今後検討していきます。</p>
<p>○ソフト的な取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな施設を作って安全だというのが、楽しめる感じにはなっていない。楽しめるようにするためにはハード的なものの整備だけでなく、ソフト的な取組みも必要。 	<p>■ハード的な記載が中心だが、イベントなどソフト的な取組みについても記載をしており、今後もさらに検討していきます。</p>
<p>○民間との協働について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官民の土地の所有によって地域でも違うとは思いますが、親水性を高めるために民間に具体的に何を求めているのかというのがガイドラインで重要だと思った。 	<p>■第3章の川沿いのまちづくりの方針やエリア別方針で具体的な項目を増やしていくとともに、民間や公共の役割分担についても今後記載を進めていきます。</p>
<p>○思い出の背景にある水辺について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの部屋の窓が水に面して、そこで朝食を食べるといったこともあると思う。観光客にとってはそういった小さな情景が思い出になってくる。 ・そういった小さな視点から少しずつ変えていくことを連担していくことが流れになっていくのがよいと思う。 	<p>■第3章の川沿いのまちづくりの方針やエリア別方針でビューポイントの拡充についての記載を増やしました。</p>
<p>○河川沿道の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳橋のあたりは江戸情緒が残っており川沿いに道が整備されていてよい印象を受けた。千代田区の川沿いもああいった感じになればよいと思う。 	<p>■第1章に千代田区の江戸時代からの川の歴史の記載を増やしており、第3章の全体ビジョンに歴史を入れるなど、本ガイドラインは歴史を重視した記載としています。</p>
<p>○水辺へ近づくことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目指すのは生活の脇のほうに寄せられた川を生活の中心に戻していくことだと思う。 ・水辺に近づくことはよいと感じたが、千代田区の河川では建物が建て詰まっていて物理的な問題があり厳しいとも感じた。 	<p>■第3章の全体ビジョンの中で、かつてのように川を人々の生活にとって身近で居心地の良い場所としていく旨の記載をしました。また、ご指摘のとおり、千代田区の河川では物理的な条件で厳しい状況ではありますが、ガイドラインの中で方針や整備イメージ図を出していきます。</p>

<p>○水に親しめる空間の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車の心配がなく、川に面したところでああいった子供たちの散歩という使い方がある。 ・防災船着場を普段から使えるようにして、災害発生時に消防などが使うようにした方がよいのではないか。 	<p>■第3章の川沿いのまちづくりの方針で防災船着場の活用について記載しました。</p>
<p>○水辺の連続性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺はぶつ切りになっているといった印象だった。水がいつでもそこにあるものとして取り戻していく行動が必要だと思う。 	<p>■第3章の川沿いのまちづくりの方針で水辺空間の連続性について方針を立て、具体の行動について今後記載を増やしていきます。</p>
<p>○水面を使う遊び場所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釣りや水面を使った遊びができる場所が日本橋川や神田川でできるとよいのではないかと。 	<p>■第3章の川沿いのまちづくりの方針やエリア別方針で水上アクティビティに係わる記載を増やしており、今後も具体のメニューについて検討をしていきます。</p>
<p>○堤防に隠された部分の可視化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本橋川の日証館では水の中にある建築の特徴的な部分である柱が堤防によって隠されている。そういった堤防の中にあるものを見せていきたい。可動堤防やアクリルを使った堤防など安全を保ったまま資源を見せていくことも可能なのではないかと。 	<p>■ガイドライン策定に向けた参考のご意見として受けとめさせていただきます。</p>
<p>○ハード的な整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵に描いた餅でもよいので、理想を打ち出すのもよいかなとは思った。例えば、水面に近づけるテラスがあるとよい。 ・そういったハードから攻めるという視点もあると思う。場があれば人は見出だすと思う。 	<p>■第3章の川沿いのまちづくりの方針やエリア別方針でハード面の整備に係わる記載を増やしており、さらに検討を深めていきます。</p>
<p>○行政施設の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉橋の辺りは何となく公的な使われ方をしているという状態になっている。そういった部分の地平の部分はもう少しオープンに使えるようになるとうい。 ・行政施設の低層部を活用していくということもよいのではないかと。 	<p>■第3章の川沿いのまちづくりの方針で水辺空間の連続性について記載をしていますが、行政施設の低層部の活用についての記載は今後検討していきます。</p>